

テーマ コミュニケーション活動について

チーム 小学校チームと中学校チーム

【小学校チーム】委員の意見

- 今頃の小学生は大人に対してちゃんと敬語が使える。子ども同士だと乱暴に感じる。そうはいつでも深刻な関係になるわけではない。新しい出会いの時は大丈夫かなと思う。
- 使い分けができるのはコミュニケーション能力が高い。
- 対大人、対子どもで言葉遣いは換えている。
- 全体的にはうまくコミュニケーションを取っていると思うが、子どもたちによって得手、不得手があると思う。
- 最初からコミュニケーションを取れるのはなかなかいない。
- 場慣れするのにどうしたらよいかを考えることが大事。
- 子どもカフェ（社会福祉協議会主催行事）はたくさん子どもたちが来ている。
- そこでコミュニケーションが取れている。
- 学校で良くやるのは「ソーシャルスキル」の指導。会話の体験で色々なスキルを身につけることはしている。
- コミュニケーション取りたいが、取れない子もいると思う。
- あいさつはできる子が増えてきたように思う。
- 小学生に求められるのは中学生と違う。元気よくあいさつできること、基本的な敬語が使えること、コミュニケーション能力はそのくらいか。そうならば、今の小学生は十分できていると思う。
- 家ではコミュニケーションは取れているか？
- 子どもと話をして会話が成立しないことがある。家でも会話がいないのでは、と想像する。
- 会話よりもiPadに走ってしまう。家ではいったん止めさせてから会話する。使うのではなく、使い方を家庭での約束事として教えなくては。
- 小学生のうちには基本的な生活習慣を身につける、ということだろう。

【中学校チーム】委員の意見

- 中学校の放送委員会で昼休みに放送する番組製作を行った。委員会の生徒だけでなく全校生徒が何らかの形で関わっており、一つのイベントを企画し実施することでもコミュニケーション能力の向上につながると感じている。
- 先日球技大会を行ったが、そのときの生徒の様子から日常のクラス内でのコミュニケーションがよいと感じている。日常でのコミュニケーション能力は高いが外に出たときどうか、という思いがあった。今年度の職場体験は2日のうち1日は1人で体験に出向きアウエー感を感じてもらう内容とした。
- 自分の子どもの友達との関わりから、ただ一緒にいるだけでは会話はしないが、食事やゲーム等なにかひとつやることがあると話しをしている。
- なにか話のネタをそれぞれが提案できるようになるといい。
- 陸別の子はコミュニケーション能力自体は高いと思う。子どもたちを見ていると現在の状況等に感じ付度しながら動き方を身につけている。幼少期より同じグループなので外に出たり外部の方と関わると緊張する度合いが高いかも。そのようなときにも同調するだけではなくクリティカルシンキング（批判的思考）を出せるといいのではと感じた。
- 対立する意見と合意形成するということは学校の指導の中でも行う必要があることのひとつになってる。陸別は地域の人とのコミュニケーション能力高い。挨拶などからそのように感じている。学校としては来年は楽しむということを1番の目標とし、またコミュニケーションを深める活動をしていきたい。それが不登校傾向の生徒の登校刺激につながることも期待したい。委員の皆様にもぜひ学校に足を運んでいただき学校の様子を見てほしいと思っている。